

A/C DESIGN BY
ALPHA CUBIC

 CROSS PLUS

第65期第2四半期(中間)

報告書

2017年2月1日～2017年7月31日

証券コード 3320



やまもと ひろのり
代表取締役社長 山本 大寛

65周年に9期ぶり上期黒字化を実現 今後は更なる成長を目指します

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、クロスプラスグループをご支援いただきまして、誠にありがとうございます。ここに第65期第2四半期（2017年2月1日～2017年7月31日）の報告書をお届けいたします。

当期のアパレル業界は、ファッション関連で服飾雑貨などの動きは良い反面、衣料品の売上は一部を除いて前年割れとなるなど厳しい状況で推移しました。このような環境の中、当社グループの第2四半期決算は、上期としては9期ぶりの黒字化を実現することができました。仕入から販売までの管理の徹底による粗利益率の向上と経費の削減により、利益面は前年から大きく改善しました。当社グループの収益バランスは、上期の売上が下期に比べて少ないため、上期は利益が出にくい傾向にありましたが、中期経営計画の目標である「製造卸売事業の安定した収益基盤の確立」に取り組むにあたり、一つひとつ実践してきた施策が、少しずつ成果となって表れました。今後に向けても、「製造卸売事業の安定した収益基盤の確立」を実現するため、引き続き、「新規販路の拡大」、「生産基盤の再構築」、「経営管理基盤の強化」の3つの基本方針に取り組んでまいります。

成長という次のステージを目指していく中、クロスプラスグループは、このたび65周年を迎えました。これまで、多くの人々に支えられながら、皆様に愛されるファッションをお届けしてまいりました。これからも、目まぐるしく移り変わる消費者のニーズにスピーディーに対応できる企業を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Contents

株主の皆様へ	1	連結財務諸表	7
決算概況	2	グループ会社別実績／連結業績の推移	8
トピックス	3	会社概要・株式の状況	9
株主優待制度のご紹介	6	株主メモ／HPのご紹介	10

決算概況

第2四半期の業績について

2017年第2期四半期連結累計期間の業績は、売上高292億72百万円（前年比99.7%）、営業利益1億42百万円（前年比+3億44百万円）、経常利益2億18百万円（前年比+3億44百万円）となりました。製造卸売事業の安定した収益基盤の確立を進めただ中で、第2四半期としては9期ぶりの黒字となりました。

売上高は専門店への新規販路を拡大したことや無店舗向け販売を伸ばしたことで、卸売部門の売上は前年を上回ることができましたが、百貨店店舗の退店などにより、ほぼ前年並みとなりました。利益面では、主力工場への生産集約を進め原価低減に努めました。中国では昨年発足した生産コントロール部による工場

の巡回管理の頻度を上げ、納期や品質の管理を強化したことや、ベトナム、ミャンマー、バングラデシュ等のアセアン地域での生産比率を高めること等で原価低減を進めました。また、仕入販売管理の精度を高め、在庫回転率を向上させロスを削減したことで売上総利益率は前年同期比で1.2%向上しました。

経費については、販売促進や品質管理に伴う費用が増加したものの、自社配送センターの稼働率向上による物流費の削減と各種費用における契約内容や単価の見直しなど購買管理を強化したことで前年並みとなりました。

通期見通しについて

通期の計画は、売上高653億円、営業利益10億50百万円、経常利益12億円、当期純利益10億円を計画しています。

売上高は年初の計画660億円から下回るものの、営業利益においては計画を上回る見込みとなりました。さらに自社ビルの賃貸収入等が見込まれることから、経常利益、当期純利益においても、それぞれ計画を上回る見込みです。また、配当につきましても、上期の業績を踏まえ、1株当たりの配当金を中間で3円、期末で3円、あわせて年間配当金は4円増配の6円とさせていた

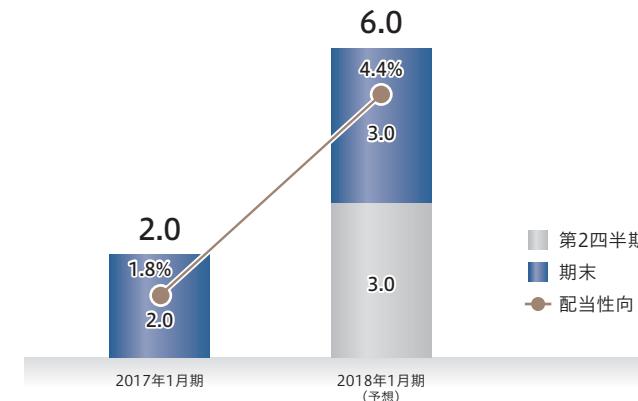
だきます。

下期については、まず既存販路に向けての売上対策を進めていきます。大手GMS（総合スーパー）に向けては積極的な提案を行っていきます。既存専門店向けは大手専門店チェーンへの単品PB提案とヤングやスポーツ関連のファッショントレンド商品を強化していきます。あわせて、中期経営計画の基本方針である「新規販路の拡大」、「生産基盤の再構築」、「経営管理基盤の強化」の3つの課題に引き続き取り組んでいきます。

配当政策

- 今後の事業展開及び財務体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続していくことを基本方針としています。
- 2018年1月期の1株当たりの配当金は、6円を予想しています。

	2017年1月期	2018年1月期
配当金	第2四半期末	3.0円
	期末	3.0円（予想）
	年間	6.0円（予想）
配当性向	1.8%	4.4%



TOPICS① 営業部門紹介

DIV紹介

(DIVとは当社事業部の呼称です)

「B&O DIV」

B&O DIVはブラウス・シャツ、アウター・スーツなどの軽衣料から重衣料と布帛アイテムを扱っており、年間販売枚数は300万枚です。

素材開発・アイテムの仕掛けと失敗を恐れず、世の中の変化のスピードに柔軟に、一人ひとりがプロ意識を持ちスピーディーな対応を心掛け、企画・生産・販売とチーム一丸となり取り組んでおります。

既存の販売先や商品にとらわれず、新しい価値観やモノへの提案を積極的に続けていきます。



「ニット部 東京 DIV」

ニット部 東京 DIVはセーターに特化したDIVで年間約350万枚を生産しております。

一般的にセーターは冬物商品といったイメージですが、約30%は春夏商品を企画しており、日々オリジナル性の高い素材の開発に努めております。

ニットは原料や糸から作り上げる服種のため、より専門性が必要とされており、企画のプロ、生産のプロ、販売のプロが揃って初めてDIVとして組織力を活かすことができます。

勉強の毎日ですが、プロフェッショナルとしての意識とプライドを持ちながら、消費者に満足していただける服作りに向けて、日々努力していきます。



TOPICS② 中期経営計画に向けて

経営管理基盤の強化

「ビジネスサポート部」

ビジネスサポート部は、経営管理基盤の強化のために「情報の見える化」と「業務の標準化」を進めています。

■「情報の見える化」

これまで部署ごとで管理していた営業情報を標準化し、全社管理します。これらの情報を活用し、生産面においては品質向上や納期管理や貿易コストの削減、利益面においては仕入販売管理を強化します。



■「業務の標準化」

各営業が行っていた事務処理作業を標準化し、ビジネスサポート部へ業務移管することで、営業の事務作業を減らし、効率的な販売が行える体制にしています。

TOPICS③ 業務改革プロジェクト

働きがいのある職場づくり

業務改革プロジェクトは、①意識改革、②効率化のためのルールづくり、③ITツールを使って業務効率アップの3項目に重点を置いて活動しています。

仕事効率を上げて、手際よく集中して働き、成果を上げ、休日はしっかり休む、ワークライフバランスのとれた働き方のできる職場を目指しています。



クロスプラス65周年 事業戦略



1 ブランドショップ戦略

FA (ファッションアドバイザー) 付きで
300店まで拡大

当社のブランドショップ事業は前期で売上高50億円を超えて、FA付きのショップは総合スーパーを中心に220店あります。しかし、それでも全国にはまだ出店ゼロの県が複数あります。当面はFA付きショップを300店まで拡大します。将来的に売上規模も100億円を計画しています。

総合スーパーは苦戦しているところも多いですが、地域にはそれぞれ一番店と呼ばれ、顧客を掴んでいる店が必ずあります。そうしたところに対してブランドショップを提案していきたいと考えています。

2 子供服強化

品種拡大と
ファミリー提案が軸

子供服は当社の強化分野です。当社はまだ子供服が弱く、全社売上高の5%にも達していません。ここをまず、売上高50億円までもっていきたくと考えています。

強化手段は大きく2つです。1つは扱い品種の拡大です。取り扱う子供の年代を広げたり、今は女の子のみなので男児まで扱い、小物雑貨も提案し、子供というカテゴリの中で枠を広げていきます。

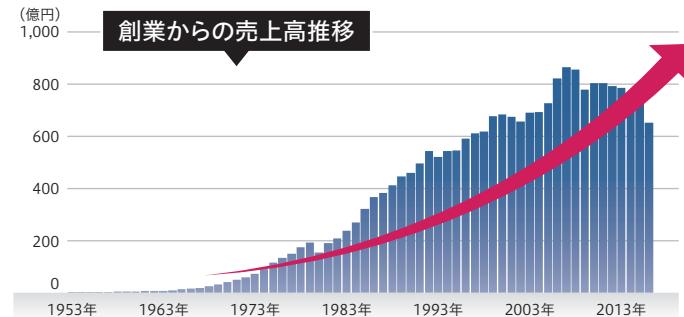
もう1つはファミリー向けの他社ブランドへのOEM・ODMの拡大です。レディース目線で作った子供服を打ち出し、素材やデザインなどを融合させることで当社の特徴を出していきます。

3 新規開拓の取り組み

チームを組んで、
細やかな商談

2016年2月に新設されたマーケット開発部は、当社にはまだ少ない専門店販路を拡大することを目的とした部署です。新規開拓を集中的に行うため、専任担当者を配置しており、中期経営計画の最終年度である2019年1月期には100億円の売上を達成することを目標に掲げています。

当期は、デザイナーと営業を増員し、得意先ごとにチームを作って商談を行うようにしています。商品の生産は、企画、もの作りのノウハウをもった既存の各部署と連動して行っています。



将来的には1,000億円の売上に挑戦したいと考えています。そのため、2019年1月期を最終年度とする3か年の中期経営計画で売上高800億円、営業利益20億円を達成するために、足場を構築していきます。企画、生産、流通の全ての能力を高め、安定した収益基盤をこの中期経営計画期間で確立していきます。

株主優待制度のご紹介

毎年1月31日（決算期）現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様に対して、「クロスプラスグループの選定商品」と「クロスプラスオンラインショップのクーポン券」のいずれかをお選びいただき、ご所有株式数に応じて次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	選択制	
	当社グループ 選定商品の場合	クーポン券の 場合
100株以上 500株未満	小売価格 3,000円相当	3,000円
500株以上 1,000株未満	小売価格 5,000円相当	5,000円
1,000株以上	小売価格 10,000円相当	10,000円

特別優待

上記の他に、抽選で株主様に30万円相当の旅行券を贈呈いたします。年1回定時株主総会の終了後に、総会会場にて抽選会を実施し決定いたします。

抽選の
対象となる
株主様

- ①毎年1月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様
- ②直近の期末株主名簿から100株以上を3年以上継続して保有（期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続7回以上記載）の株主様

当選数

- ①の株主様の中から10名様
- ②の株主様の中から2名様
(ただし、①と重複当選の場合は無効といたします)

オンラインショップ

ATSURO TAYAMA

QRコード

<http://www.at-atsurotayama.com/>

JUNKO SHIMADA

QRコード

<http://www.junkoshimada.jp/>

クロスプラス
オンラインショップ

QRコード

<http://www.crossplus.jp/>

連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

単位:百万円

科目	前期 (2017年1月31日)	当期 (2017年7月31日)
(資産の部)		
流動資産	20,882	18,325
固定資産	8,699	8,724
資産合計	29,581	27,049
(負債の部)		
流動負債	15,470	12,154
固定負債	3,219	3,866
負債合計	18,689	16,021
(純資産の部)		
株主資本	9,714	9,913
その他の包括利益累計額合計	1,178	1,110
新株予約権	—	4
純資産合計	10,892	11,028
負債純資産合計	29,581	27,049

第2四半期連結損益計算書

単位:百万円

科目	前期 (2016年2月1日～ 2016年7月31日)	当期 (2017年2月1日～ 2017年7月31日)
売上高	29,348	29,272
売上総利益	5,687	6,030
販売費及び一般管理費	5,890	5,888
営業利益又は営業損失(△)	△202	142
営業外収益	105	121
営業外費用	29	45
経常利益又は経常損失(△)	△126	218
特別利益	128	—
特別損失	6	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△4	218
法人税等合計	18	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	213

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	前期 (2016年2月1日～ 2016年7月31日)	当期 (2017年2月1日～ 2017年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	294	1,223
投資活動によるキャッシュ・フロー	144	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191	△251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	200	897
現金及び現金同等物の期首残高	5,415	4,419
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△342	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,273	5,317

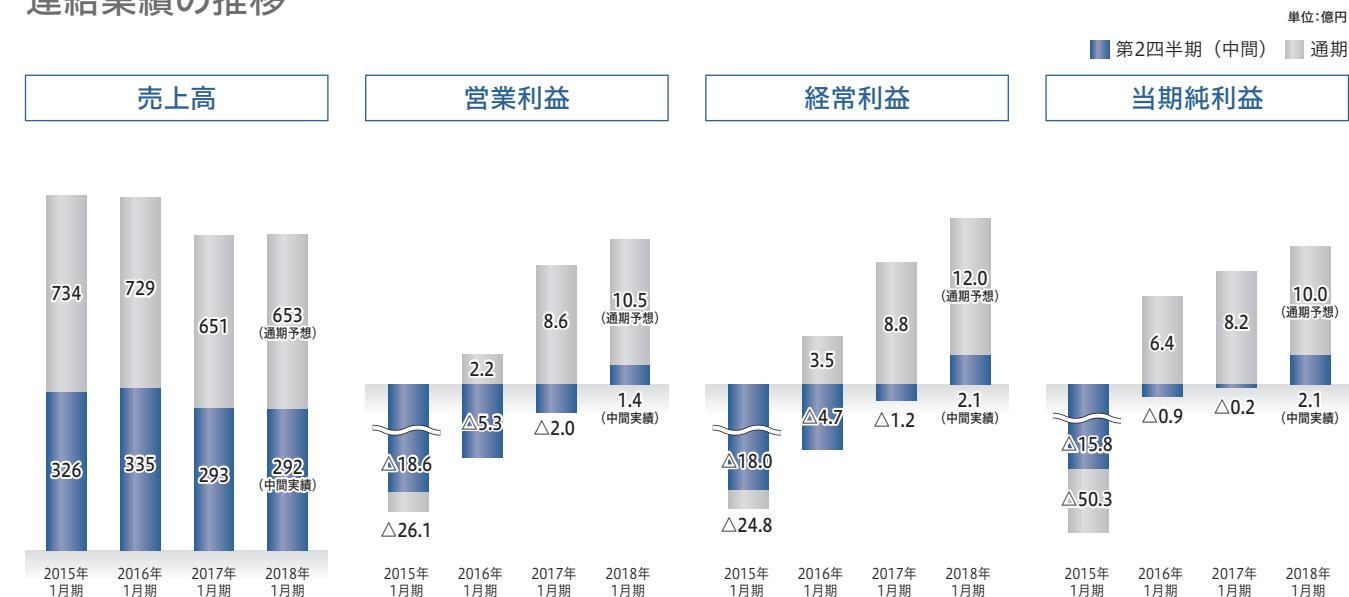
グループ会社別実績

【連結】2018年1月期第2四半期(累計)グループ会社別実績

単位:百万円

	売上高			営業利益		
	前年	実績	前年比	前年	実績	前年比
クロスプラス(株)	28,051	27,957	△94	△207	173	+380
スタイリンク(株)	1,193	1,197	+4	0	△32	△32
上海服飾整理有限公司	162	161	△1	1	△3	△4
連結調整	△59	△43	+16	3	4	+1
連結	29,348	29,272	△76	△202	142	+344

連結業績の推移



会社概要・株式の状況

会社概要 (2017年7月31日現在)

事業内容	婦人、女兒向けアウターウェア全般を企画製造し、量販店、専門店等への卸売及び百貨店等での小売
創業	1951年8月
設立	1953年4月
資本金	1,944百万円
代表者	代表取締役社長 山本 大寛
従業員数	715名 (連結)、647名 (単体)
事業所	本社：名古屋市西区花の木3-9-13 東京支店：東京都中央区日本橋浜町3-3-2 物流センター：中部、CP流通
グループ会社	スタイリンク(株)：東京都 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司： 検品センター(上海、青島、烟台、南通)

株式の状況 (2017年7月31日現在)

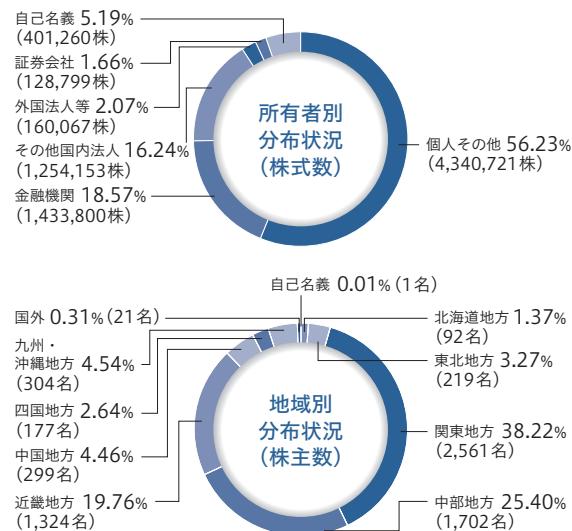
会社が発行する株式の総数	31,600,000株
期末発行済株式総数	7,718,800株
期末株主総数	6,700名
期末単元株主数	6,349名

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
辻村 隆幸	593,650	7.69%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	529,800	6.86%
クロスプラス社員持株会	360,560	4.67%
田村駒株式会社	238,400	3.08%
森 文夫	224,130	2.90%
株式会社ヤギ	218,600	2.83%
株式会社三菱東京UFJ銀行	206,000	2.66%
CP共栄会	192,800	2.49%
有限会社シーピーモアー	191,250	2.47%
辻村 幸子	150,850	1.95%

※当社は自己株式401,260株(持株比率5.19%)を保有しております。

役員の状況 (2017年7月31日現在)

代表取締役社長	山本 大寛
取締役会長	森 文夫
取締役副会長	辻村 隆幸
常務取締役	北出 哲男 虫鹿 宏
取締役	西垣 正孝
社外取締役	大爺 正博 江口 恒明
常勤監査役	曾我 孝行
監査役	上野 憲一
社外監査役	松島 博 川合 正
常務執行役員	鈴木 英司 西尾 祐己 大口 浩和
執行役員	丸尾 裕之 柳瀬 努 内藤 法子



株主メモ

決算期	毎年1月31日
定時株主総会	毎年4月開催
基準日	・定時株主総会 1月31日 ・期末配当金 1月31日 ・中間配当金 7月31日

単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部
名古屋証券取引所市場第二部

公告の方法 公告は電子公告にて行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
電子公告掲載URL <http://www.crossplus.co.jp/>

株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **配当金計算書について**
配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

HPのご紹介

当社グループホームページでは、IR情報や決算情報をはじめ、当社をよりよくご理解いただくための情報がご覧いただけます。

<http://www.crossplus.co.jp/>



CROSS PLUS

クロスプラス株式会社

〒451-8560 名古屋市西区花の木3-9-13

TEL 052-532-2211(代)

<http://www.crossplus.co.jp/>